四万十町昭和ふるさと交流センター再整備基本計画策定・基本設計作成業務 仕様書

1. 業務名称

四万十町昭和ふるさと交流センター再整備基本計画策定・基本設計作成業務

2. 目的

四万十川沿いにある昭和ふるさと交流センターは、約 11,000 m²の芝生のテントサイトを備え、ゴールデンウィークや夏休み期間中はラフティングやカヌーなどのアクティビティを求める多くの人でにぎわうキャンプ施設であるが、平成元年に施設整備がなされたもので、約 35 年が経過しており老朽化も進んできている。また、度々四万十川の増水により浸水の被害もあることや、近年利用者の要望も多様化してきていることなどから、大規模な改修が必要な時期に来ている。

そこで、令和 6 年度において昭和ふるさと交流センター再整備基本構想の策定を行ったところであるが、基本構想を基に今後の運営・活用方法、概算事業費の算出などの具体的な整備に向けた基本計画の策定とともに、基本計画に位置付けた整備に関する基本設計を作成する

3. 業務期間

委託契約締結の日から令和 7 年 11 月 28 日（金）まで

4. 基本構想の位置付け

第 2 次四万十町総合振興計画（基本方針 1：挑戦し続ける産業づくり 政策目標 3：本物のおもてなしがあるまち 施策目標(6)交流促進）に基づいた計画として位置付ける。

5. 業務の内容

本業務は令和 6 年度に策定された基本構想を基に、基本計画書の策定および基本設計書の作成を行うものである。具体的には、基本構想で実施された「現状把握・分析」「課題の抽出」「整備方針」の成果を踏まえ、以下の業務を実施する。

(1) 基本構想の成果の確認

基本構想で行われた「現状把握・分析」「課題の抽出」「整備方針」の内容を詳細に確認し、基本計画及び基本設計に適切に反映させる。

(2) 追加情報の収集

基本構想策定後に生じた新たな状況変化や最新のデータを収集し、計画に反映させる。

(3) 検討会の実施

地域住民、専門家、愛好家などを対象とした検討会を開催し、基本構想の成果や追加情報を共有し、意見を収集する。また、検討会の成果を基に、基本計画および基本設計に必要な修正や調整を行う。

(4) 基本計画の策定

上記の成果を踏まえ、施設の具体的な機能や配置、運営方針などを定めた基本計画を策定する。

ア. 基本計画の作成（パース図作成を含む）。

- a. 計画の全体像・将来像
- b. 事業目的
- c. 現状分析
- d. 課題設定
- e. 事業理念（コンセプト）
- f. ターゲット
- g. 事業内容
- h. スケジュール
- i. 収支計画（費用対効果）
- j. 四万十町内における経済波及効果

イ. 施設整備後の姿を町民等に分かりやすく説明できるコンテンツの制作。

(5) 基本設計の作成

基本計画に基づき、詳細な設計図書を作成する。

ア. 法令上の諸条件の調査及び関係機関との打ち合わせ

- a. 上下水道、電力、道路等に関する現状把握及び関係機関等との調整確認
- b. 建築確認申請に係る関係機関との調整確認

イ. 基本設計図の作成

建築、テントサイトの基本設計図を作成する。

ウ. 基本設計業務の一部として備品の概算書作成を含める。

(6) 概算事業費

基本設計図書に基づく工事費概算書及び備品購入概算書の作成

(7) 業務スケジュールの作成

(8) 報告書とりまとめ

6. 業務実施体制

(1) 業務実施スケジュール

提案に基づき、あらかじめ四万十町と協議したスケジュールで業務を実施すること。

※業務工程表を含む業務計画書の提出 【様式任意】

(2) 業務責任者の配置等

業務実施に当たっては、本業務を統括し、四万十町から指示を受ける窓口として業務責任者を配置し、四万十町との円滑な業務遂行管理や意思疎通に努めること。

※実施体制及び組織図（協力者含む）の提出 【様式任意】

(3) 打ち合わせ等

本業務を適正かつ円滑に行うため、常に密接に連絡を取り、打合せ等を行うこととする。また、その要旨をその都度記録し、打合せの際相互に確認するとともに、打合せ記録簿を作成し必要に応じて四万十町へ提出するものとする。

7. 成果品

本業務において作成する成果品は、概ね次のとおりとし、詳細は契約時に発注者と協議の上決定するものとする。

- (1) 基本計画書（A4版／一部カラー製本）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5部
- (2) 基本設計書（A4版／一部カラー製本）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5部
- (3) 会議資料（庁内検討会議等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・その都度必要な部数
- (4) 業務委託において作成した資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5部
- (5) 上記成果品の電子データ（CD-R等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・一式

(成果品の著作権等)

成果品の著作権等については、次のとおりとする。

- (1) 本業務の実施により生じた著作権、肖像権その他権利は、全て四万十町に帰属するものとする。
- (2) 本業務の実施による成果品は、著作権・肖像権上の権利関係の処理を済ませた上で納品するものとする。
- (3) 第三者が権利を有している著作物を使用する場合は、受託事業者の負担で著作権処理を行うものとする。
- (4) 著作権、肖像権に関する紛争が生じた場合は、受託事業者の責任において対応するものとし、四万十町はその責任を負わない。

8. その他留意事項

その他留意事項は次のとおりとする

- (1) 四万十町個人情報の保護に関する法律施行条例（令和5年3月16日条例第1号）に基づき、本業務に係る個人情報を適切に扱うこと。

また、本業務により取得した個人情報は、成果品納入後、直ちに適正な方法により廃棄・消去すること。

- (2) 成果品（業務履行過程において得られた記録を含む。）を第三者に閲覧させ、複写又は譲渡してはならない。ただし、四万十町の承諾を得た場合はこの限りでない。
- (3) 本仕様書に定める事項に疑義が生じた場合、また、本仕様書に定めのない事項については、速やかに四万十町と協議すること。

【参考】

○既存施設概要

名 称：四万十町昭和ふるさと交流センター

開設年：平成元年

所在地：高知県高岡郡四万十町昭和 669 番地 2 周辺一帯

施 設：管理施設 木造 2 階建て 257 m²

[1 階]

倉庫

シャワー 男女兼用×4

トイレ 男性用 和式×2 小便器×2

女性用 和式×4

多目的 洋式×1

[2 階]

事務所・交流室・喫茶室

トイレ 男性用 和式×1 小便器×2

女性用 和式×2

多目的 洋式×1

キャンプ場 芝生広場 11,736 m²

○参考資料

資料 1_第 2 次四万十町総合振興計画 改訂版（令和 4 年 3 月）概要版

資料 2_四万十町昭和ふるさと交流センター等条例（一部抜粋）

資料 3_施設位置図及び現況写真

資料 4_施設利用者数の推移

資料 5_昭和ふるさと交流センター再整備基本構想